

全代会会長の設置について

全学学類・専門学群代表者会議

議長 鈴見 祐悟

全代会の「議長」は、年度ごとの方針の決定や全代会全体の俯瞰など、主に「会長」としての役割を担っている。その上で、会議の進行を行っている。この問題点として、議長団が同時に座長団として投票権を所持しているにも関わらず、「議題は全て議長団を通してから審議している」「中立的立場でいどむべき会議の進行を行っている」ことが挙げられる。これは審議の公平さを損なうものである。

例年、全代会の問題点として挙げられている「議長の役割」について、先日の委員長連絡会で、早急に明確化したいという結論に至った。現在、委員長連絡会の場で審議が進められているが、今年度は特別措置として、総務委員会の専門委員が議題の審議のみ進行を行っている。

この現状に関して、全代会構成員の意見が聞きたい。